

当たる!

当報クイズ(18)

市民談話室



私の100冊 子供文庫の開設に思う

青木きよ子さん(大通一丁目無職・六十四歳)

平成元年十一月「ユネスコ・ライブラリー100」の寄贈先募集に迷わず申し込み、選考に漏れても「ものはためし」と、楽しみに、また、半ば諦めていたところ三月八日、ビックピカの百冊がドサッと宅急便で配達されました。

取るものもとあらず、あまりの感激に、一冊、また一冊、幼児向けから小学校高学年向けの児童書にシールをはりながら

原稿募集

10月1日号の原稿を募集します。皆さんが日ごろ考えていることや身近な出来事など、気軽に投稿してください。字数は400字から500字程度とします。あて先は、〒950-12白根市大字白根1235 白根市役所 企画調整課 広報広聴係 (☎373-2111) (F)333) です。



女、40歳代に思うこと 人生の折り返し点で

滝沢憲子さん(横町乙・看護婦・四十三歳)

二十一歳で結婚、翌年長男を出産。若かった私は、夫、家族の温かい協力と励ましに支えられ、今日までまいりました。長男は社会人となりました。そして、今年の正月、病弱だった祖母は天国に旅立ちました。最後まで十分ながしてやれず、今はただ、仏壇に手を合わせ



私の生きがい 文章で自分の意志を伝える

金子則子さん(館・無職・四十歳)

私の生きがいは、単純なことですが、本を読み、理解することです。感じたことを感じたまま、書き留めることです。読書クラブに入れていただいて、読んだときはメモしたりしてそれなりの感想を書いています。わたしにとっては大仕事なのです



断酒に努めて 明るく朗らかな家庭を

吉田幸枝さん(下茨・主婦・五十三歳)

信濃川沿いの須田から、中ノ口川沿いの果樹地帯である茨會根へ嫁いで二十八年になります。一家の主婦として、ただただ夢中に仕事をし、夫とともに働いてきました。名前のごとく枝のように幸せ



8月21日に市役所に来られた岡村 徹さん(新潟市)に抽選していただきました。先月号の正解は①C②A③Cでした。応募総数は34通で、そのうち正解は33通でした。

応募の方法は...

はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で五人に五百円の図書券を、三人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。

今月の問題は...

- ①平成元年度に実施した主な建設事業のうち、最も事業費が多かったものは?
A 白根総合公園建設事業
B 道路整備事業
C 街路整備事業 (ヒント①二ページ)
- ②小林地区公民館で行われた「名曲鑑賞の夕べ」。最終日(七月二十五日)の鑑賞曲は?
A シェヘラザード
B ハミルトン
C ニューヨーク (ヒント①八ページ)
- ③滝沢市長のアメリカ・カナダ研修記。ウォルター・ケニー氏が市長に就任している都市は?
A リッチモンド
B ハミルトン
C ニューヨーク (ヒント①七ページ)

当選おめでとう!

- [500円の図書券]
▶西村礼子さん(鍋湯・?歳)
▶富田燕子さん(古町・5歳)
▶宮崎幸雄さん(水道町・60歳)
▶青木きよ子さん(大通1・64歳)
▶高井宏晃さん(庄瀬・5歳)
- [県立自然科学館招待券]
▶長橋 恵さん(能登・12歳)
▶平松朗子さん(日の出町・16歳)
▶古寺洋之さん(中央通・15歳)

市民文芸

俳句
おほらかに黄を展げたる花南風 安次 飛浪
袋掛け袋取りにも履はれた 五十嵐寛吾
抱きよせし千し草葉をかくしけり 猪股 南魚
百姓に追ひ上げという春雨 成沢 素明
池一つつけて沈みぬ水中花 公条 雪夫
草ゆれて少し風ある露草かな 堀内オナ子
夏草くぐりて飛脚のみやげ買ふ 古川 緑
紫陽花の穂の揺れを一掃り 豊木サダ子
農日記繰り返し読む梅雨休み 木村 トリ
笹の葉に重たきほどの願ひかな 小林 光子
同じ豆蒴いて芽の出ぬ隣 小林 すみ (以上大風会)

短歌
朝顔の花一輪を待ちぼうけ 小出よしの
如雨露に水やる朝の楽しみ 小出よしの
戦死せる兄は夢路に我と逢い 小出熊四郎
何も言はずに消えて行きたり 小出熊四郎
辻地蔵の花また今日も新しき

川柳
誰ぞ手向けむ季季の花 中村 京
D51の座席に備忘録を置く 今井 七郎
パカンスへ犬もお供の家族連れ 織田 セツ
善人へ菩薩が咲かず蓮の花 後藤マサノ
近道はしない頑固な父の地図 佐藤トミノ
履歴書に無学の欄が真っ白い 佐藤 ヨキ
墓に水たっぷりかけて恩返し 高橋祐四雄
都市砂漠人の心も乾き切る 竹石 甚五
舌戦の喉が乾いた向かい風 田村 恒夫
登山靴履かずに登るゴミの山 時田 良子
減反が続く案山子の瞳が乾く 長井 徳市
官姓名名乗りナマズの番もする 中村 尚治
点一つ確かむ辞書にルーベ持た 西条 ムラ
来客の重いお尻にホウキ立て 早川 英男
臨機応変譲らず税が上がる 山岡 フミ
たまに来る孫の重さを手で計り 本間 雪江
近道の矢印につい騙される 吉川 彰
家族会議ひとり浮いている粗大ゴミ 米野 光雄
風鈴を子守歌にし児の昼寝 荒木 イマ